

## 令和4年度 家庭科「家庭基礎」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	情報コミュニケーション科 2年7組
教科書	家庭基礎 ―自立・共生・創造― (東京書籍)	副教材等	指定なし

### 1 学習の到達目標

人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

### 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等			
一学期	4	第1章 自分らしい 人生をつくる	1 生涯発達の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ライフステージの特徴と課題を理解する。</li> <li>・生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、職業選択も見通す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・提出物</li> <li>・ワークシート分析</li> </ul>			
	5		2 青年期の課題			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生を見つめ、多様なライフスタイルを考える。</li> <li>・家族・家庭に関する基礎的な法律を考える。</li> </ul>		
	6	第3章 高齢社会を 生きる	4 人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢社会の現状と課題を理解する。</li> <li>・高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解する。</li> <li>・高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・提出物</li> <li>・ワークシート分析</li> </ul>	
			5 家族・家庭を見つめる			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「着る」ということを考える。</li> <li>・被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い絵表示・サイズ表示など理解する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・提出物</li> <li>・ワークシート分析</li> </ul>
			1 高齢期を理解する					
	7	第6章 衣生活をつくる	2 布を用いた生活の知恵			期末考査		
	二学期	9	第5章 食生活をつくる	1 食生活の課題について考える		<ul style="list-style-type: none"> <li>・からだと心の健康をつくる食生活について考える。</li> <li>・日常的な食品の栄養的特徴や調理上の性質について科学的に理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・提出物</li> <li>・ワークシート分析</li> </ul>	
10		2 食事と栄養・食品		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安をしり、自分や家族に当てはめる。</li> <li>・食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習</li> <li>・レポート提出</li> </ul>			
11		第2章 子どもと共 に育つ	3 食生活の安全と衛生			<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。</li> <li>・子どもの育つ力と発達段階を理解する。</li> <li>・人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習</li> <li>・レポート提出</li> </ul>
			4 調理の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。</li> <li>・子育ての社会的支援について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・提出物</li> <li>・ワークシート分析</li> </ul>			
12		3 子どもとの触れ合いから学ぶ				期末考査		
		4 これからの保育環境						

三 学 期	1	第7章 住生活をつくる	1 住生活について考える 2 住生活の計画と選択 3 これからの住生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>住居の機能や間取りの基礎知識を理解する。</li> <li>住居を選ぶ際、室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を考える。</li> <li>バリアフリーの考え方を理解し、住環境における地域社会のつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何か考える。</li> <li>キャッシュレス社会の考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。</li> <li>ライフスタイルと環境を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>提出物</li> <li>ワークシート分析</li> </ul>
	2	第8章 経済生活を営む	1 現代の消費社会  2 これからの消費生活と環境		<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>提出物</li> <li>ワークシート分析</li> </ul>
					学年末考査

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心を持ち、その充実向上を目指して自ら調べ、考え、主体的に取り組む態度を身につけている。
思考・判断・表現	自分と家族・家庭や地域社会の生活に関する課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫して表現する能力を身につけている。
技能	自分と家族・家庭や地域社会の生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的技術を身につけている。
知識・理解	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識を総合的に身につけている。家族・家庭や地域社会の役割を理解している。

### 4 評価の方法

定期考査の結果・実験実習のレポート・単元ごとのワークシートの成果を含め4観点から、総合的に判断する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に付けるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な事項や課題の内容を暗記するだけでなく、生活者としての立場から実際の生活を見つめ、課題を発見し、改善していく姿勢が大切です。</li> <li>講義・実習・実験・疑似体験・グループ学習などの学習形態の中で、より深い理解ができるよう、積極的に参加し、互いの人格や意見を尊重する姿勢を持って臨みましょう。</li> <li>教材の準備や授業場所についての連絡をよく聞くようにして下さい。また、欠席をした場合は次の授業までに内容を確認しておきましょう。</li> <li>提出物は必ず期限までに提出しましょう。</li> </ul>
---